

2022 年度 兵庫県立播磨南高等学校 1 学期終業式式辞

2022 年 7 月 20 日

校長 吉田 尚美

～制服とは何か～

今日で一学期が終わります。みなさんは一学期を振り返ってみて、楽しい毎日をすごせましたか？学校としては大きな事故や事件がなく、充実した一学期だったと思います。生徒校長面談では、1，2 年生とはほとんど面談できましたし、3 年生とは、夏休み中に希望者と面談したいと思っています。

生徒校長面談には目的があります。みなさんの日頃の様子や進路希望を知ること、そして学校への要望を聞くことなどです。昨年度はみなさんの要望を検討して、生徒会と学校で協議し、携帯電話の規制緩和、ニットベストの導入、カバンの自由化等を行いました。

みなさんの意見を聞く目的の一つに、播磨南高校に対する帰属意識を高めることがあります。人がある集団に属しているとき、自分の意見が全く聞いてもらえなかったら、その集団に対する帰属意識、その集団に対する愛情がなくなり、自分は阻害されているという気持ちになります。そして、その集団を離れるか、強硬な手段を用いて意見を通そうとすることにつながります。最悪な場合、強硬手段としてテロが行われることになります。

だから、相手の意見を無視したり、罵ったり、嘘をついたり、事実をごまかしたりせずに、まじめに相手の意見を聞き、話し合わなければならないのです。そして、いろんな考えの人がいるので、誰であっても自分の意見が全て通るとは限らないと知ることです。面倒くさくても、人の意見を聞き、よりよい道を探ること、「寛容」「協力」「譲歩」それが民主主義の根幹です。

そこで、今回は、制服についてみんなで検討してみたいと思います。

最近スカートを巻き上げて短くしている人が多く見られます。先生方から毎日のようにスカーを下ろしなさいと言われてはいますが一向に改善されません。

そもそも制服とは何でしょう。

制服の意味

- 1 貧富の差がなく、同じ場所で学んでいることの象徴。
- 2 冠婚葬祭どの場面でも制服は対応できる、式服、礼服である。
- 3 あの制服が着たいという憧れの対象。
- 4 警察官は制服を着ると警察官の気持ち、看護師は看護師の気持ちになるように、学校で勉強するという気持ちの切り替えができるもの。
- 5 よけいなトラブルから生徒を守る鎧である。

など

では、制服に対するいろんな意見を聞いてみましょう。

制服は不要

- 1 服装は個人の自由
- 2 制服は個性の抑圧である
- 3 衛生的でない

など

スカートを巻いて短くしている人の意見

- 1 かわいく見える、またはかっこよく見えるから
- 2 みんなやっているから。流行っているから

など

世間の意見

2010 年 4 月カンコー学生服 20 歳以上 846 人対象アンケート

制服を着崩している学生に対してどのように感じますか

20 代 かっこ悪い 40.6% どちらかというとかっこ悪い 44.6% どちらかというとかっこいい 13.3% かっこいい 1.5%

50 代以上 かっこ悪い 71.4% どちらかというとかっこ悪い 24.4% どちらかというとかっこいい 4.2% かっこいい 0%

このアンケートから考えると、みんなはかっこいいと思ってやっているけれど、世の中のほとんどの人は、かっこ悪いと思っていることがわかります。

制服を着崩している学生がいる学校に対して

風紀の乱れた学校 62.1%

教育レベルの低い学校 56.9%

教師の指導力の低い学校 47.4%

自由な学校 15.1%

播磨南高校では生徒のみなさんの意見を聞き、生徒会と学校と一緒に校則を見直してきました。自分たちの学校の校則を、納得して守ってもらうためです。けれども、制服については、一緒に校則を見直さず、スカートを勝手に巻いて短くしています。それはフェアではありません。スカート丈を短くしたいなら、一緒に校則を検討すべきだと思います。しかも、一部の人がものすごくスカートを短く巻き上げているので、フレアスカートのように、制服の形が変わってしまっています。世の中の人、アンケートからわかるように、本校を風紀の乱れたレベルの低い学校と、軽く見るようになるでしょうし、中学生は本校を憧れの学校とは思わないでしょう。3年生の就職は困難になるでしょう。それは学校全体にとって大きなマイナスです。

だからみなさんは、もし、スカートの長さに不満があるなら、勝手に制服を着崩さず、正当な手段で見直しを訴えるべきです。

例えば

- 1 制服をなくす。
- 2 制服を着崩す人は、制服で登校せず私服で登校する。
- 3 制服のスカート丈を膝の真ん中か膝下かを選べるなど、もう少し短いものも認め、一定の範囲内で自由を選べるようにする。

この案は例ですから、この中から選べと言っているわけではありません。もしみなさんの多くがスカート丈を変える必要があると考えているなら、自分たちの案を、生徒の代表である生徒会をとおしてまとめてください。それから、生徒会、学校、保護者で話し合い、よりよい解決策を見つめます。

それが民主的な決定の正しいやりかたです。

みなさんはいずれ社会に出て、みんなで物事を決める機会があると思います。自由な話し合いの場の持ち方、正しい手順で決定する方法について学んでほしいと思います。